

サンコー通信 2019.04

生物発泡について(排水生物処理)

排水処理施設の発泡トラブル

生物処理の排水処理施設において、季節の変わり目で起こるトラブルとして、バルキング(サンコー通信2019.03参照)や生物発泡があります。皆さまの排水処理施設は、大丈夫ですか？

生物発泡は、なぜ起こる？

生物発泡の主な原因として、

- ①放線菌によるもの
 - ②低負荷で自己消化が進み、細胞質(タンパク質)が溶出などが考えられます。
- ①と②では、対処方法も変わってきます。



※ケミカルプラント活性汚泥中から撮影された放線菌の一種

- ①放線菌による生物発泡では放線菌を減らすため、薬剤を添加したり、曝気強度の調整などで放線菌が増えにくい環境を整える必要があります。
- ②低負荷による生物発泡では①と同様にシリコン消泡剤が効きかないため、アルコール系やエステル系の消泡剤を検討する必要があります。また、低負荷を改善するために汚泥引抜き、曝気強度低減なども同時に行います。

症状に見合った対処方法を、ご提示いたします。

是非、お声かけください！

株式会社サンコー分析センター

静岡県浜松市南区下江町604-1

TEL053-426-0731 FAX053-425-0464

URL:<http://www.sankobunseki.co.jp>

E-mail:info@sankobunseki.co.jp